

報道関係各位

Quilt

東京国際キルトフェスティバル実行委員会

『第16回東京国際キルトフェスティバルー布と針と糸の祭典ー』

2017年1月19日(木)～25日(水)【7日間】

2017年1月19日(木)～25日(水)の7日間、東京ドームにおいて『第16回東京国際キルトフェスティバルー布と針と糸の祭典ー』を開催します。本フェスティバルは、キルトを愛する人々が集い、キルトの魅力を伝える世界でも最大規模のキルトの祭典です。

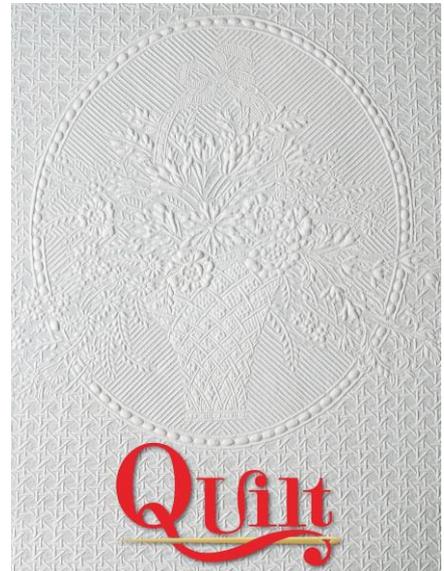
今回は、東京ドームいっぱいにキルトの花が咲き誇る空間を演出します。

まず、特別展示は「珠玉のガーデンキルト ネブラスカ大学IQSCM (インターナショナル・キルトスタディセンター&ミュージアム)」です。キルトの殿堂として有名なアメリカのネブラスカ大学IQSCMが所蔵する1800年代に作られた貴重な”花のキルト”を展示します。

また、特別企画は「鷺沢玲子 オズの魔法使い」です。オズの魔法使いの物語をキルトで表現し、エメラルド城への道を色とりどりのキルトの花が埋め尽くします。

更に、日本の第一線で活躍する作家が「四季 花物語り」をテーマに新作を発表します。

その他、日本最大級のキルトコンテスト『日本キルト大賞』では、国内外から応募のあった中から入賞・入選作品300点余りを展示します。



制作:中山久美子ジェラルツ

開催概要

■名称 : 第16回東京国際キルトフェスティバルー布と針と糸の祭典ー

[主催] 東京国際キルトフェスティバル実行委員会

(NHK・読売新聞社・東京国際キルトフェスティバル組織委員会)

[後援] 外務省、経済産業省、東京都、アメリカ合衆国大使館、NHK出版、NHK文化センター

[企画運営] NHKエデュケーショナル、NHKアート、(株)東京ドーム

■期間 : 2017年1月19日(木)～25日(水) [7日間]

9:30～18:00(入場は閉場の30分前まで)

※初日は11:00開場、最終日は17:30閉場

■会場 : 東京ドーム (東京都文京区後楽1-3-61)

[交通アクセス] JR中央線・総武線、都営三田線 水道橋駅 徒歩3分

東京メトロ丸ノ内線、南北線 後楽園駅 徒歩3分、都営大江戸線 春日駅 徒歩5分

■URL : <http://www.tokyo-dome.co.jp/quilt/>

■入場料金 : 前売券 1,900円 / 当日券 2,100円 ※小学生以下は無料。但し大人の付き添いが必要

■前売券発売 : 2016年10月14日(金)より

■チケット販売 : JR東日本の主なみどりの窓口、びゅうプラザ、セブンチケット、チケットぴあ、イープラス、ローソンチケット、JTBエンタメチケット、CNプレイガイド、チケットポート、楽天チケット、Confetti、PassMe!、ファミリーマート、ミニストップ、サークルK・サンクス、東京ドームシティ総合案内所、公式ホームページ 他

■総展示数 : 約1,800点

展示内容

◆特別展示「珠玉のガーデンキルト ネブラスカ大学IQSCM」

公的なキルトコレクションとしては世界最大の規模を誇る米国のネブラスカ大学リンカーン校に所属するインターナショナル・キルトスタディセンター&ミュージアム(IQSCM)。今回はIQSCMが所蔵する5,000点の中から、花をモチーフにした貴重なアンティークキルト28点を展示します。

1800年代後半のアメリカでは、空前のガーデンブームが起こり、ガーデン雑誌が次々と出版されました。当時制作されたキルトにも、ガーデンデザインや新種の花が図案として取り入れられ、色彩豊かなキルト作品が数多く制作されました。今回は、クレイジーキルトの傑作「My Crazy Dream」も特別展示します。



My Crazy Dream(1877-1912年)



Album(1850年)



Eagle(1876年)

©International Quilt Study Center & MUseum,
Lincoln, Nebraska, United States

◆特別企画「鷺沢玲子 オズの魔法使い」

1900年に児童文学作品として発行された、アメリカのカンザスを舞台にした「オズの魔法使い」は日本でも人気を博した作品です。今回、日本を代表するキルト作家の鷺沢玲子さんとそのグループが、物語でおなじみのドロシーやブリキのきこりを立体キルトで制作します。また、キルトで作られたエメラルド城や気球も登場します。



鷺沢 玲子



魔女



オズの魔法使い

◆「斉藤謠子の全仕事～北欧に魅せられて～」

茶色を帯びた灰色“トープカラー”で独自の世界を切り拓いてきた斉藤謠子さん。近年では、スウェーデンのダーラナ地方の素朴な風景や白夜に魅せられ“北欧キルト”のジャンルを確立しました。初期のキルト作品や美しいバッグの数々、そして“北欧キルト”の世界をかつてない規模で展示します。



斉藤 謠子



FAGELPIPA



北欧作品(イメージ)

◆新作キルトの競演「四季 花物語り」

日本の第一線で活躍するキルト作家59人が、花への想いを新作キルトにつづります。

作家それぞれの個性豊かなデザインや技術が色彩豊かなキルトの花々となり、本フェスティバルで咲き誇ります。



制作:稲船 典子

◆わたしの布遊び「花」

日本を代表する4人のキルター、上田葉子さん、キャシー中島さん、黒羽志寿子さん、小関鈴子さんが、「花」をテーマに個性豊かな空間を演出します。



上田 葉子



キャシー 中島



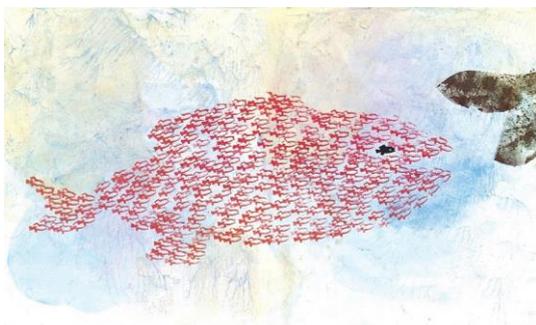
黒羽 志寿子



小関 鈴子

◆絵本きると「レオ・レオニの世界」

小学校の教科書にも載った「スイミー」などの作品で知られる絵本作家レオ・レオニ。彼の鮮やかな色の世界が21点のキルトになりました。



スイミー



フレデリック

◆「わたしの“手仕事”スタイル」

著名人の自慢の手仕事を紹介するコーナーです。女優の市原悦子さんが撮影の待ち時間にこつこつと仕上げた作品や、モデルの神田うのさんがお嬢さんのために作られた作品などを展示します。



市原 悦子(女優)



神田 うの(モデル)

◆ステージショー

トークショーは、1月19日(木)に神田うのさん、23日(月)に市原悦子さんが登場します。20日(金)には「ときめきファッションショー」と題して、キルトで制作した衣裳を皆様へ披露します(作家陣:こうの早苗、小関鈴子、丸屋米子)。また、21日(土)・22日(日)にはお馴染みのキャシー中島さんによる「ハワイアン・タヒチアン・ダンスショー」を開催します。

◆コンテスト「日本キルト大賞」

プロ・アマ問わず国内外から幅広い層のキルターの応募作品が集まる「日本キルト大賞」。今回も前回同様6つの部門で行われます。応募総数1,385点(海外40点)の中から選ばれた入賞・入選作品320点近くが展示されます。(入賞・入選者は本フェスティバル初日に発表します。)

●部門 ①トラディショナル ②創作 ③和 ④額絵キルト ⑤バッグ ⑥ジュニア

●各賞 日本キルト大賞(1点)、準日本キルト大賞(1点)、ハンドメイキング賞(1点)

フレンドシップ賞(1点)、部門賞(各部門1位~3位)、審査員賞、優秀賞、企業賞、奨励賞

◆パートナーシップキルト「恋するガーデン」

今回のパートナーシップキルトのテーマは「ガーデン」。NHK「すてきにハンドメイド」で募集したキルトブロックおよそ8,910点を、キルト作家の岡野栄子さんのレイアウトで、大きなタペストリー型の63枚のキルトにして展示します。展示した作品は希望者にチャリティー抽選券(500円)を発行し抽選を行います。純益はNHK厚生文化事業団を通じて福祉活動に役立たせていただきます。



今年の応募作品より

◆日本最大級のキルトマーケット

キルトに関するものなら何でも揃う、日本最大級のキルトマーケットです。約200店が出店します。

お客様からのお問い合わせ先

東京ドームシティわくわくダイヤル

TEL. 03-5800-9999